

食器の回収方法を考えよう

リユース食器を繰り返し使うためには、回収が最も重要です。

食器の置き去りやごみ箱への混入を防ぐために、回収所を目立たせることが回収率向上のカギになります。

回収場所はどうしたらいいの？

回収所で回収 来場者の動きを考えて設置しましょう

- ・スタジアムなどの閉鎖空間 → 回収場所を複数にして、会場出口にも設置
- ・野外イベント → 回収場所を複数に設置し、回収箱を目立たせる工夫が必要

飲食物を販売した店舗で回収

飲食物を購入したお店に返却すれば良いのでお客さんにとってはわかりやすいでしょう。

食べ残し(飲み残し)はどうしたらいいの？

- ・回収場所やお店で持ち帰り容器を配布するなどの工夫をしましょう。
- ・食べ残し(飲み残し)のごみ箱を準備しましょう。

回収率を上げるための来場者へのPRは？

「リユース食器を使っていること」を周知させるため、看板やポスターを掲示してどんどんPRしましょう。



会場内での
アナウンス放送



イベントのゲスト
(有名人・歌手など)に
呼びかけてもらう



事前にメディア
(HP、新聞、テレビ等)を
活用



当日にスタッフが
回収袋・箱を
持って巡回

預かり金制度(デポジット制度)で回収率アップ!

預かり金制度(デポジット制度)とは？

商品購入の際に一定の金額(100円などのワンコインが良い)をお店に支払い、食器の返却時に預けたお金を返してもらう制度です。

デポジット制を導入することにより、リユース食器の持ち帰りを減らすことができます。また、食器の紛失・破損の際の弁償金としても利用できます。

デポジット制を導入する場合の留意点

- ・チラシやポスターでお客さんに仕組みを知ってもらう
- ・お客さんから質問を受けた場合に備え、スタッフの全員が答えられるようにしておく
- ・一度に大量の返却者が押し寄せる場合に混乱が生じないか、金銭管理はスムーズにできるかをあらかじめ考えよう

こんな方法も…



食器を記念品として来場者にプレゼント

飲食物を販売する際に、食器・カップの料金も上乗せにして、使った食器・カップを記念品として来場者に持ち帰ってもらうのも、ごみを減らす手段の一つです。スポーツ観戦で使うカップにチームのロゴや選手のサインを入れるなどの工夫をすれば、来場者もごみとして捨てることなく持ち帰ってくれるでしょう。

